

令和3年9月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一「胡蝶の少女」 1960年代
 キャンバス・油彩 個人蔵

「胡蝶の少女」

縦18cm、横14.3cmの小さなキャンバス描かれた「胡蝶の少女」。ふつくらとした横顔は少しあどけなさが残り、ほんのりと赤く染まった頬からは、少女のあたたかな体温が感じられます。頭では6頭の蝶が舞っていて、蝶が翅を広げている様子は髪飾りのリボンの様にも見え、少女を可愛らしく彩ります。うつむく視線の先で何を想うのでしょうか。画面には幻想的な雰囲気が漂い、その横顔に思わずじっと見入ってしまいます。鷹山は自身が描く「人物」について次のように語っています。

人物を描く時、まず描くものをよく見ることが大切である。眼にも耳にも研ぎ澄ました神経を充分に行き渡らせ描く対象物の動きの一瞬時に美醜を識別する。また美しい表情にはそれなりの動きがあるので、美しいポーズや形を探したりつかむためにクロッキーやデッサンは不可欠であり、美の発見にはそれだけの用意と時間が必要である。上だけの誰れが見てもきれいと思われものには案外と単調なたいくつなものも多く、しつかりした審美眼を持つていなければ時折人生もくるつてくる。(『県政のあゆみ』(青森県広報県民課、昭和58年1月1日発行)「表紙のことば」より)

鷹山は自分の研鑽の場として仕事の合間合間に何千ものデッサンを描き続けました。訓練を積み重ねることのできた確かな描写力、そして描く対象物の奥深くに隠れる美を捉える確かな審美眼が、鷹山の幻想世界を創り出すのでしよう。

学芸員 遠藤未奈子

友の会海外研修旅行

コロナが収まったら

七戸町 奥山 雅子

私は新型コロナが収束したら旅に出たいと考えています。何処でも良いから県外へ出たいのですが、許されるのなら海外へ行きたい思いがあります。

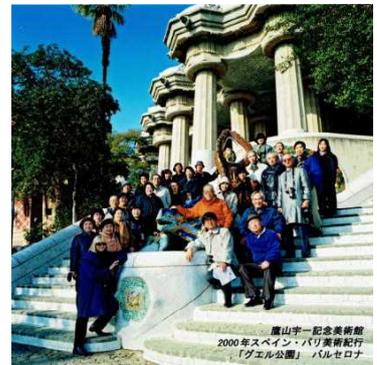
二〇一九年五月に友の会設立二十五周年記念第七回海外研修旅行「中欧三カ国の旅」に参加して、そのときの仲間たちと月一回の女子会を続けています。いつか又旅行に行く夢を語りながら、最近あまり旅行の話はしないで近況報告になっていますが、それでも楽しいひとときです。



2000年1月、夜のサグラダ・ファミリアを背景にパチリガウディ没後100年という節目の2026年完成予定

この第一回のスペースの旅から、このあとの第二回、イタリア研修旅行へ続く予定です。旅行の計画は定期的に行うつもりです。参加したい方は、ぜひお申し込みをお願いします。

なぜ友の会で海外研修旅行をするようになったかを検証してみたいと思います。二〇〇〇年一月友の会設立五周年記念の第一回「スペイン・パリ美術紀行」について、一九九八年に「アントニ・ガウディ展」を開催これが発端で友の会であることがこれを見に行こうと計画を立てた記憶があります。この当時の旅行会社の海外旅行は観光買い物中心でしたから自分たちで見たいものをピックアップして組み立てる旅行のスケジュールを立てる旅行社に依頼して見積もりを依頼して会報で参加者募集、基本こんな感じで七回まで続けております。



1984年にユネスコの世界遺産に登録されたグエル公園

第一回スペイン旅行のアルバムを見ながら思い出しています。二〇年前と今の交通事情の違いは、なんといっても美術館前の新幹線。東京まで乗り換え無しで三十分です。二〇年前は七戸を午前十時三十分バスで三沢駅へ行き、特急はつかりで盛岡駅まで。新幹線やまびこに乗り換え、約七時間でした。

コロナ前は気楽に東京の美術館に年に数回日帰りで行っていました。今はそれもありません。前にスペイン旅行と一緒に「年をとるとタイムリミットがあるのだから早く次の旅行を計画してほしい」と言われたことを思い出します。二〇年たつてそ



「マドリッドで夕食後の遅い時間に「タブラオ」に行き本場のフラメンコを鑑賞。圧倒され、思わず「オレー！」



二人がかりで運ぶパエリア

の気持ちよくなる。日本から来た。飛行機で約十時間。狭い機内を過ごす。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。

は第一に健康体力が必要。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。お金の差は大きい。旅行は健康体力が必要。



世界三代美術館のひとつといわれているプラド美術館。驚異のスペイン王室コレクションとしてベラスケス、ゴヤをはじめとする作品を誇ります。

(友の会旅行係)

キャシー中島 愛を綴るキルト展

閉幕

青森放送株式会社との共催による「キャシー中島 愛を綴るキルト展」は7月18日(日)、会期を無事に終了しました。総入場者数は14,415人！大変多くのお客さまにご来館いただきました。キャシー中島さんの愛が詰まったキルト作品に癒された方が沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。

また、併催の「南部菱刺し 民藝作家 石井キク展」も繊細で細かな手仕事に感動の声が多く聞かれました。

総入館者数14,415人!



7/2 (金)

10,000人目セレモニー

10,000人目のお客様は五戸町からお越しの竹原さん。姉の森田さんとともに来館されました。高岡理事長から花束と記念品としてキャシーさんプロデュースの「キャシー・タオル」を贈呈しました。竹原さんは「キャシーさんの作品を楽しみに来た」と嬉しそうに話してくれました。



竹原さん(中)、森田さん(右)、高岡理事長(左)で記念撮影。

沢山のご来館ありがとうございました！

第81回

国際写真サロン展

国内では最も権威ある国際写真コンテストとして知られる国際写真サロン展(朝日新聞社、全日本写真連盟主催)の巡回展です。プロ・アマ問わず応募できるのが特徴で、今回の第81回展では76カ国・地域から7,656点、国内からは3862点の応募があり、その中から審査員特別賞を含む海外部門5点、国内部門4点の入賞が決まりました。

芸術性と獨創性に富んだ写真作品をお楽しみください！

← 審査員特別賞 > 「Femme à l'ombrelle」 Fan LI (FRANCE)
クロード・モネの名作「散歩・日傘をさす女」を連想させ、水面に映し出された絵画のような透明感溢れる作品です。



青森県から入選者が!

〈国内入選〉

「今日も地球は平和だなあ」

佐藤 安津子 (青森県)



思わず笑顔になってしまう、とてもユニークな作品です。

10月16日(土) ~ 10月31日(日)

休館日/月曜日

入館料/一般 500(400)円、学生 300(240)円、

小中学生 100(80)円

※()内は20名以上の団体割引料金

※その他各種10%割引

開館時間/10:00~18:00 (最終入館17:30)

第20回 鷹山賞児童作品展

会期変更のお知らせ

変更前：11月21日～1月23日（日）

変更後：12月5日（日）～1月23日（日）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、「入賞者授賞式」は中止と致します。何卒ご理解のほど宜しくお願い致します。

「濱田進展」

第20回展を記念して併催「濱田進展」を開催します。濱田進先生は鷹山賞児童作品展の第1回展から審査員長を務め、二科会評議員でもある洋画家です。イタリアやフランスの街角・町並の風景を繊細に描く作品は、多くの人に愛されています。今回は濱田先生の水彩画、油彩画をお借りして展示します。この機会をお見逃し無く！



今年も子ども達の素敵な作品が沢山集まりました。現在鋭意準備中です！開催はもう少し先ですが、子どもたちの作品、そして濱田先生の作品をお楽しみに！

7/26～8/20

乙供郵便局 夏休み特別企画

「蝶々の標本展」開催



今年で開局106年目を迎えた乙供郵便局で夏休み特別企画「蝶々の標本展」が開催されました。展示されたのは当館所蔵の蝶の標本です。七戸町で採集されたウスバシロチョウを始め、海外の蝶の標本が展示されました。美術館の外で美術館資料が活用されることは大変嬉しいことです。ありがとうございます！



↑夏休み期間中の開催ということもあり、子どもたちが沢山訪れてくれたそうです。

～ご来館のお客様へ～

新型コロナウイルス感染予防のための対応とお願い

ご来館されるお客様には手指の消毒、検温、入館記録票に氏名、連絡先のご記入をお願いしております。また、ご来館前に発熱の症状、体調がすぐれないなど、体調に不安があるお客様は来館をお控えくださいますようお願い致します。ご面倒をお掛けしますが、安心・安全にご鑑賞いただくために、何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

なせちよちよくらぶ

「ゴマダラチョウ」の飼育をはじめたのか？



実は私たち、国蝶である「オオムラサキ」を追いかけていたのです。鷹山作品にも登場するオオムラサキ。その食草は「エンエノキ」です。まずは、エンエノキの生息場所を調査しました。エンエノキは神社によく植えられているそうですが、旧七戸町の神社のほとんどが杉でした。旧天間林村の神社も杉・・・と諦めかけていたとき、さすがリーダー対馬氏！生息場所を見つけたのです。季節は春。越冬した幼虫を捕まえるため、雪解けから顔を出したエンエノキの落ち葉を一枚一枚確認していきます。葉にくっついていた幼虫を発見！んく背中のギザギザが左右合計6つ・・・「ゴマダラチョウ」です。オオムラサキの幼虫はゴマダラチョウの幼虫と背格好が同じで唯一背中のギザギザが2つ多い8つ。何度も調査に出ました。七戸町にもいるはずだとリーダー。私たちは調査し続けましたが、その年オオムラサキの幼虫を発見できなかったができませんでした。せつかく見つけた「ゴマダラチョウ」。『よし、この子達を飼育しよう！』とリーダー。ゴマダラチョウの飼育に至るまでにはこんなエピソードがあったのです。

私はリーダーと調査に出るたびに、今日はどこに連れて行かれるのだろうか？とドキドキしていました。なぜなら、七戸育ちであるにも関わらず、こんなにも郷土について知らない事が多いのかと改めて思い知らされるからです。

調査中、越冬の幼虫を早く見つけたのは、虫が大の苦手な学芸員、悲鳴とともに幼虫を指さす様子を見て楽しそうに笑うリーダーがいました。いつか、オオムラサキの幼虫を発見することができるといういな。七戸産でなくては意味がない。生態系がね。崩れてしましますからね。

リーダーと共に廻ったエンエノキ、来年こそは観察に行けたらいいな。頬っぺりの似合うお姉さん？と共に。

教育普及員 織川 孝子

ちよちよくらぶ

捕まえているとも！

以前、女性2人で調査している時、通りかかった農作業中のおじさんに「おまえさんたちに捕まる蝶いるか？」って笑って声をかけてくれました。もちろん！！捕まえていましたよ。ただし、キャッチアンドリリースです！



美術館に来院した、ヒョウモンチョウ族の蝶です。こちらの2頭は一見同じように見えますが、違う種類の蝶です。

【美術館中庭にご来院】



ウラギンスジヒョウモン

WELCOME

自宅に訪問者が！！ WELCOMEマットの上に・・・。 さあ、お逃げなさい。ん？ 腕にとまるの？



今回の訪問者はクロヒカゲさんでした。



令和3年度 美術館あーとくらぶ

美術館あーとくらぶ、令和3年度の予定です。現在、通常通りにワークショップを開催したいと考えて進めておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況によりやむを得ず中止する場もございまして、HPでご確認いただきかお問い合わせください。(9月末現在、すべてのワークショップは協議中です)



【美術館あーとくらぶ】について

この教室は、平成14年度より開催している造形体験教室です。子ども達の「生きる力」を育むとともに、幅広い世代に広く美術に親しんでいただこうと、児童生徒から大人までを対象とした、地域に根ざした美術館ならではの様々な講座を用意しています。

青森県が誇る文化である「木版画」体験を取り入れながら、そのほか単発で様々なものづくりに挑戦します。多様な技法に触れながら自分の表現方法を探し出し、つくりたいものを創造する喜びを味わい、そして分かち合えるそんな教室を目標に努めて参ります。



11月・12月 協議中 年賀状木版画

大切な人に自分の作った木版画で年賀状を送りましょう。

1月 協議中 クレパスで絵を描こう(仮)

クレパスを使って思いっきり指を汚して絵を描こう！！

2月 協議中 七宝焼きをしよう(仮)

いつも人気の七宝焼き。今回はどんなモチーフがあるかお楽しみ！

3月 協議中 デコパージュをしよう(仮)

ペーパーナプキンの柄で毎回違う仕上がりになります。只今吟味中！

美術館日誌

7月



▲1万人目のお客様。
セレモニー後の取材の様子です。

▼2日(金)

キャシー中島

愛を綴るキルト展

1万人目セレモニー

▼7日水

PC入替

(東京堂・リコー)

▼8日木

PC入替に伴つ設定・テクノロジー

▼9日(金)

PC入替残作業

(リコー)

▼11日(日)

七彩会

2F

▼13日(火)

夏の塗り絵展示会打合せ

(ファミリーマート永友氏・館長)

▼15日(木)

空調設備工事工程打合せ

(生涯学習課・常務理事)

新理事長取材 (県南新聞)

蝶標本箱貸出打合せ

(乙供郵便局局長・遠藤)

RABRシオ「GO-GO」ラシ丸

(地域特派員織川)

▼18日(日)

キャシー中島

愛を綴るキルト展最終日

▼20日(火)～21日(水)

キャシー中島キルト展撤去作業

(青森スタジオ)

▼22日(木)

空調設備工事開始

(9月30日)

▼24日(土)

蝶標本箱展示作業/乙供郵便局

(遠藤・織川)

▼26日(月)

夏休み特別展示

蝶標本展/乙供郵便局

(8月20日)



▲乙供郵便局入り口には、お手製の展示案内がありました。

8月

▼4日(水)

電気設備点検

(佐藤電気)

▼9日(月)

税理士山本氏来館

▼13日(金)～16日(月)

夏期休暇

▼21日(土)

蝶標本箱撤去作業/乙供郵便局

(遠藤・織川)

▼25日(水)

ホール足場解体(空調設備工事)

▼26日(木)

夏の塗り絵展示会審査

(ファミリーマート永友氏・館長・遠藤・織川・對馬)



▲夏の塗り絵作品を審査している様子です。ファミリーマート様からの依頼で審査しました。様々な工夫がされた塗り絵がいっぱいで、楽しませていただきました。



9月

▼1日(水)

休館(空調設備工事に関わる停電の為)

▼2日(木)

三役会議

(理事長、常務理事、館長)

▼8日(水)

セコムバッテリー交換

▼19日(日)

鷹山賞児童作品展作品締切

▼24日(金)

友の会会報入稿

▼28日(火)

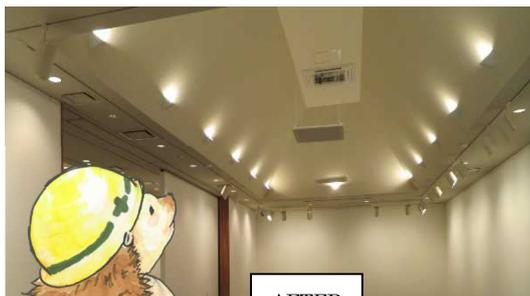
濱田進氏作品搬入

▼30日(木)

辞令交付式

空調設備工事完成検査

空調設備工事は無事終了しました。
10月16日に始まる国際写真サロン展から通常通り再開する予定です。



AFTER

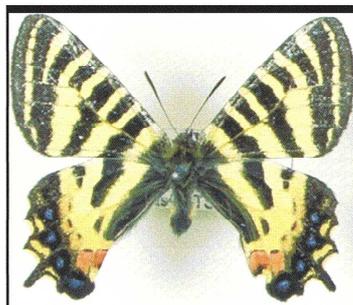


BEFORE



春の女神カタクリと共に

② ヒメギフチョウ



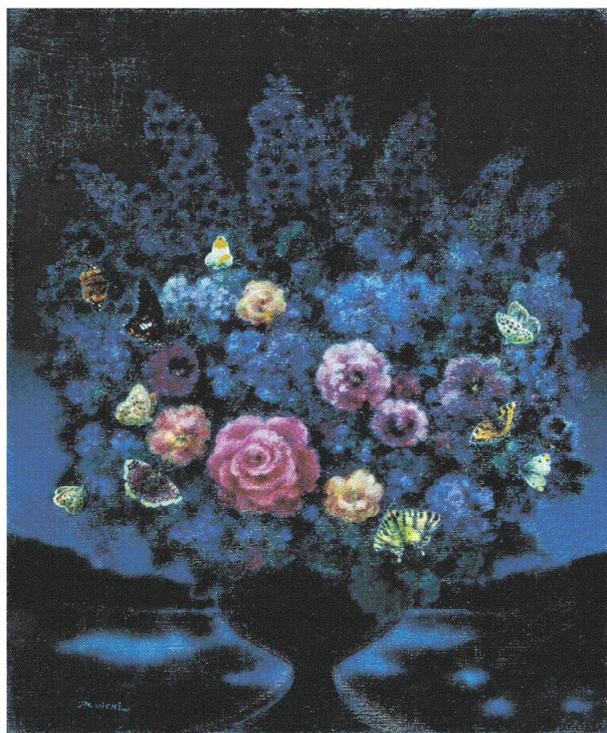
「春の女神」と呼ばれる
ヒメギフチョウ

絵画の蝶を追って

鷹山宇一記念美術館作品から

鮮やかな花束へチョウが群が
るように舞う、幻想的な作品が
「湖畔の花」(1992年)。
背景に青黒い湖畔が広がり、前
景の花束にチョウが舞うという
構図で描かれた作品だ。

花束の右下に黄色い羽を広げ
ているのがヒメギフチョウであ
る。北海道・北東北に分布する、



湖畔の花 (1992年)

4〜5月、サナギから成虫へ
羽化し、カタクリと共に早春の
山を彩ることから、別名「春の
女神」とも呼ばれる。気温が上
がっていくにつれて、カタクリ
は標高の高い山間でも徐々に開
花。それに合わせて、ヒメギフ
チョウも山間へ移っていくの
だ。

「湖畔の花」には、ヒメギフ
チョウは登場するものの、カタ
クリの花は描かれてはいない。
ほかの作品でも、現実には見る
ことができない花とチョウの組
み合わせが存在する。
幻想的な色調に加え、こうし
た仕掛けも不思議な世界観を引
き立たせているに違いない。

(向中野一樹)

※毎週月曜日に掲載

新規会員入会お誘いのお願いと

友の会会員登録更新のお願い

平素から会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添え
をいただき誠に有難う御座います。今後とも鷹山宇一記念
美術館の応援をよろしく願います。

友の会では会員の皆様方に芸術・文化に一層親しんでいた
だけよう研修旅行、講演会等を企画し微力ながら地域文
化の振興に寄与していく所存で御座います。

なお、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の
郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

- 会費 (個人) 年度会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により
入館料2割引

○特別会員

- 会費 (個人・法人) 年度会費 1万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員と
も本人及び同伴者1名まで無料入館
②新規加入の方に画集1冊贈呈
③研修会、講演会への招待、優待
④他美術館等の視察研修への優待参加
⑤会報の配布

○賛助会員

- 会費 (個人・法人) 年度会費 2万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員と
も本人及び同伴者3名まで無料入館
②新規加入の方に画集1冊贈呈
③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。